

うちの子も4歳になり、そろそろ小学校のことを考える時期がやってきました。ビクトリア州では5歳から小学校の準備学年が始まります。つまり、小学校には準備学年から小学6年生まで、7年間通うことになるようです。

わが家の近くには公立小学校が5校あり、どの学校の評判が良いかを幼稚園のお母さんや近所の人に聞きました。というのも、ここでは基本的に学区というものはなく、自由に学校を選ぶことができるからです。日本でもこのよう

になれば、学校に特色が出て、親の選択肢も増えると思います。

5歳から小学校選び

気に入った学校が見つかる

と、まず校長先生と会う約束をします。校長先生は、1時間ぐらい時間をかけて学校の案内や教育方針を説明してくれます。ここでは校長先生の権限が強く、教職員も校長が採用するなど、校長次第で学校の雰囲気が変わるとい

のもよく聞きます。

さて、いくつか学校を回ると先生の対応、授業の様子、子どもたちの態度など、学校の様子がずいぶん違うことに気付きます。地域によって親の教育への熱心さが違うのも、原因の一つかもしれません。

ん。

私たちの住んでいる地域は白人系がほとんどですが、地域によっては中国系やベトナム系の子どもが大半を占める学校があったりと、民族性がかなり違うことがあります。私たちは、そんな白人ばかり



入学前の授業体験の様子。担任と一緒に楽しい工作の時間です

の学校に日本人が1人ぼつんと入って大丈夫かなと思ひ、主人の勤める小学校への入学を決めました。家から車で片道20分もかかりますが、学校の外国語の時間に日本語を教えていて日本への理解があること、数人の日本人がすでに通っていることが理由でした。

学校を決めたら入学申し込み書の提出です。その後、学校の様子を知るために学校体

験を数回します。そこで入学後の担任やクラスメートに会うこともできます。ちょっと大きめの制服も用意して、いよいよ準備完了。こちらの公立小学校では制服があり、赤、黄、青、緑などとてもカラフルです。さあ、英語はついていけるかしら、お友達はできるかしら、と親の方が不安いっぱいでした。

(新山直子、メルボルン在住)
(日曜日に掲載)

小学校への入学準備